

# 隠岐地区(水産)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
隠岐-1	「隠岐のいわがき」販売強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖数量の増加により、「隠岐のいわがき」の出荷数量は伸びているものの、単価の下落が懸念されている。</li> <li>・より一層衛生管理に配慮した「隠岐のいわがき清海」の販売個数が増加しており、消費者の食の安全・安心への関心は高い。引き続き衛生管理の徹底が必要。</li> <li>・イワガキ養殖による所得の維持・増大のため、より一層の消費者ニーズ把握や販売努力等による売り上げの増加並びに生産の効率化が必要と考えられる。</li> <li>・食害によるものと思われる生残率の低下や過密養殖による成長不良等の影響が懸念されており、養殖生産の安定化が課題となっている。</li> </ul>	養殖イワガキの販売個数	65	63	万个	96%	概ね達成
			養殖イワガキの販売金額	1.38	1.36	億円	99%	概ね達成
隠岐-2	漁業の担い手育成・確保プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自営漁業就業者については、積極的な誘致等を図ったことにより、確実に確保されている。</li> <li>・雇われ漁業就業者の確保についても、新規就業者の加入が見られている。</li> <li>・一方、特に自営漁業においては、就業した後も厳しい漁家経営を強いられている場合が多く、複合経営化の推進や漁獲物の付加価値向上などによる収支改善の取組が必要と考えられる。</li> <li>・今後、新規就業者の定着を進めるため、十分な収入が得られる漁業就業モデルの構築や、必要な支援制度の整備等、受入体制づくりが必要と考えられる。</li> </ul>	新規自営漁業就業者数(計画期間中)	1	3	人	300%	達成
隠岐-3	隠岐のさかな消費拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント等に積極的に参加して、島内外において「隠岐のさかな」を広くPRすることができた。</li> <li>・島内における「隠岐のさかな」の消費拡大を図る必要がある。</li> <li>・島内の小中学生等を対象とした料理教室の開催や学校給食での地元産水産物の使用などにより、若い世代への魚食普及活動を推進した。</li> <li>・消費者等のニーズに合わせ、ライフスタイルの変化に応じたより使いやすい形態の製品や地元産にこだわった製品作りに努めた。隠岐の島町においては加工品製造を進めるため公設民営による新たな加工場整備の検討を開始。</li> </ul>	新たな加工品開発数(計画期間中)	3	8	品	267%	達成
			料理教室等の参加人数(計画期間中)	500	535	人	107%	達成
隠岐-4	海のゆりかごづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海士町に海藻種苗生産施設が完成。今後、藻場造成や新たな海藻養殖のための種苗を生産するとともに、増養殖した海藻について、加工品の開発のほか、再生可能エネルギー等の非食用の用途などへの利用等、広く有効活用されることが期待される。</li> <li>・減少している藻場の復活に向けて、実態調査・造成が試みられている。</li> <li>・新たな海藻養殖試験を実施するとともに、養殖した海藻を用いて加工品の製造を図るなど積極的に活用されている。</li> <li>・海藻の食用以外の用途についても検討が進められている。</li> </ul>	藻場造成箇所数(計画期間中)	1	4	箇所	400%	達成
			新たな海藻養殖対象種数(計画期間中)	1	3.0	種類	300%	達成